



## すずか倶楽部 後藤 光雄 議員

- 1 中学校プールのあり方について
- 2 市役所の土日開庁について
  - (1) 白子地区市民センター日曜開設施設の状況と今後について

**質問1(1)** 1億円はかかるプールで水泳の授業は何回位実施されているのか。

**答弁1(1)** 学校の規模等で違うが6~18時限である。

**質問1(2)** プールの維持経費はどのくらいか。

**答弁1(2)** 1校当り94万円程かかっている。

**質問1(3)** プールのない学校にもプールを造るのか。

**答弁1(3)** 基本的な考えでは整備していく。

**質問1(4)** スポーツガーデン等の利用は考えないか。

**答弁1(4)** 移動の時間を考えると難しい。校区内の小学校のプールの利用を考えてみたい。

**質問2(1)** 白子地区市民センター日曜開設の試行が市役所の土日開庁につながる計画はないか。

**答弁2(1)** 現在はそこまでの計画はないが、市民アンケートの結果では50%以上の方々が市役所の開庁を望んでいる。

**質問2(2)** 鈴鹿市によく似た規模で人口22万人の群馬県太田市では、1局13課の土日開庁サービスを実施し、4,400万円の経費で5億円余の収納を実現しているが、市の考え方はどうか。

**答弁2(2)** 同じ結果が得られるかわからない。よく分析して検討したい。



## 市政研究会 中村 浩 議員

- 1 生活保護費の問題について
- 2 Cバスについてのパート10

**質問1** 生活保護費問題の現状はどうなっているのか。また、国庫負担金の返還額と返還手法は。

**答弁1** 返還額は県とも協議後、正式に国の方針が示された後、返還額が確定されると考える。返還の手法については、一旦は市費にて精算するが、その後のことについては他市の事例も勘案して適切な対応を講じる。なお、滝川市や深谷市の二市の事例も含めて考えている。

**質問2** 地域公共交通会議の運営等はどうなっているのか。また、地域公共交通活性化等の考え方はどうな

っているのか。なぜ、もっと多くの市民をメンバーに入れないのか。

**答弁2** 住民や利用者も含めた地域の関係者が連携した地域公共交通会議を積極的に運営して市内公共交通体系の充実に向けた検討を進めたい。また、交通計画は当市の公共交通サービスの将来的な拡充に向けて検討するものであり公共交通機関を利用する市民の移動の円滑化を図ることを目的に関係者が連携しながら策定に取り組みたい。地域交通の予算については、民間公共交通事業者と市行政との費用分担に関する協議や財政的な制約も勘案したうえで優先順位を考え、できるだけ効果の高い事業を選定しながら進めたい。



## 公明党 森 しず子 議員

- 1 危機管理への取り組みについて
  - (1) 新型インフルエンザ対策の取り組みについて
  - (2) 水道の濁り水対策等の取り組みについて

**質問1(1)** 重症化しやすい妊婦や乳幼児、基礎疾患を持つ人たち等への対策はどうするのか。新型インフルエンザワクチン接種の優先順位はどうなるのか。また、学校園や保育現場等での対応はどうするのか。

**答弁1(1)** 重症化しやすい人への対策は注意等をまとめた「インフルエンザ豆知識」を作成し、母子健康手帳等各種手帳などの交付時にチラシ等を配布し、注意

喚起をしている。予防接種の優先順位としては、救急隊を含む医療従事者、妊婦と基礎疾患がある人、一歳から就学前の幼児、一歳未満の乳児の両親、健康な小・中・高校生と高齢者の順に接種する案が示されている。また、学校園では保健所と連携し、早期受診や治療に努める。なお、家庭での保育が困難な園児には、保護者等の就労を支える観点から、保育所の開園を継続したい。

**質問1(2)** 濁り水事故等の緊急事態が起こった時に市全体での取組みが必要ではないか。

**答弁1(2)** 広範囲に濁り水事故等の緊急事態が発生した時には、市全体で取組むとともに水道事業関係団体とも連携を取りながら対応している。